

CASBEE-建築(新築)2016年版

日本電産株式会社 向日町プロジェクトC棟他建築工事(仮称)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		重み係数		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						3.5
Q1 室内環境						3.1
1 音環境		3.6	0.15	-	-	3.6
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	3.0	-	
1.2 遮音		4.2	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能	T-2	5.0	0.60	3.0	-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音	2面に吸音材を使用	4.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境		2.6	0.35	-	-	2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-	
1 室温		3.0	0.38	3.0	-	
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	-	
3 ソーン別制御性		3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境		3.6	0.25	-	-	3.6
3.1 昼光利用		3.0	0.30	-	-	
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	-	
2 方位別開口		-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-	
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-	
3.3 照度	平均照度: 639lx	4.0	0.15	3.0	-	
3.4 照明制御	照明はスパン毎範囲で画像センサによる調光制御	5.0	0.25	3.0	-	
4 空気質環境		3.3	0.25	-	-	3.3
4.1 発生源対策		3.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	-	
4.2 換気		3.3	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-	
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮	給気は各種排気口と6m以上離れて設置	4.0	0.33	3.0	-	
4.3 運用管理		4.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御	全館禁煙	5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	4.0
1 機能性		4.2	0.40	-	-	4.2
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		3.0	0.33	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応	コンセント容量50VA/m ² 以上	5.0	0.33	3.0	-	
3 バリアフリー計画	建築物移動等円滑化基準項目を満たす	4.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性		4.6	0.30	-	-	
1 広さ感・景観	天井高: 2.7m	4.0	0.33	3.0	-	
2 リフレッシュスペース	執務スペースの1%以上のリフレッシュスペースを確保	5.0	0.33	-	-	
3 内装計画	内観パースにより事前検討を行っている	5.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	防汚性の高い材料を使用	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保	モップ、ウエス等の洗濯スペースを確保している	4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.9	0.30	-	-	3.9
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.8	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	建築基準法に定められた耐震性の1.25倍以上を有する。	4.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		4.2	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	30年以上	5.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	20年以上	5.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	屋外露出ダクトはガルバリウム鋼板を使用	5.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	2種類以上にB以上を使用しEは不使用	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		4.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3 電気設備	非常用発電機を設置	5.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法	耐震クラスA	4.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備	通信手段の多様化	5.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.8	0.30	-	-	3.8
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高は4.2m以上	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 0.11	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり		荷重の割増を行っている	4.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.2	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	OAフロア内ころがし配線	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.7
1 生物環境の保全と創出		敷地内緑化に努めている	4.0	0.30	-	-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮		植栽により良好な景観を確保している	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.2
1 建物外皮の熱負荷抑制			2.0	0.20	-	-	2.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.71	3.9	0.50	-	-	3.9
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.7
1 水資源保護			3.8	0.20	-	-	3.8
1.1 節水		省水型機器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.7	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	散水に利用	4.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.60	-	-	3.8
2.1	材料使用量の削減	F=325を使用	4.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	ビニル系床材、ボード、ウッドデッキ	5.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	再利用可能部材の採用	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用		4つ以上該当	5.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		LCGO2排出量削減に配慮	3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	十分な量の駐車、駐輪スペースを確保	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	ゴミのストックスペースを確保している	4.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害チェックリストの過半を満たす	5.0	0.70	-	-	
2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	